

たくさんの真心ありがとうございます

下記の方々から本会に寄附金・支援金をいただきました。本当にありがとうございました。(平成25年6月末現在)
平成25年5月22日 宮城県仙台東高等学校さまより法人のために…………… 113,275円

東日本大震災に関する支援金

平成25年5月2日 株式会社ブリッジさまより …54,406円
平成25年6月4日 株式会社ブリッジさまより …55,946円
皆さまからお寄せいただいた支援金は東日本大震災による復興支援のために活用させていただきます。

相談をおよせください

宮城県高齢者総合相談センターでは高齢者やそのご家族から法律、医療(認知症)、保健・介護の悩みごとなどの専門相談をお受けします。相談は無料ですが、法律、医療(認知症)相談は事前予約制です。

	相談員	相談内容	相談日
相談受付	センター相談員	相談の受付、情報提供	月曜日～金曜日 9:00～17:00
法律相談	弁護士	相続、財産、契約など	第1～第3金曜日 13:30～15:30
医療相談(認知症)	精神科医	認知症などの予防や治療、精神保健など	第4木曜日 13:30～15:30
保健・介護相談	保健師など	健康管理や家庭介護など	月曜日～金曜日 9:00～17:00

問い合わせ/宮城県高齢者総合相談センター
TEL/022(223)1165

今年もやります

2013年みやぎ アピール大行動のお知らせ

私たち「みやぎアピール大行動実行委員会」は、障害者自立支援法の廃止と新たな制度の確立を求め活動してきました。全国的な運動により、制度改革へ向けて議論が続けられ、この4月より障害者総合支援法が施行されました。しかし、まだまだ不十分な点は多くあります。

私たちの望む制度改革へ向け、障害者総合支援法を検証し、私たちの思いを改めてアピールしたいと思えます。是非ご参加下さい。

日時/11月4日(月) 12時30分～
場所/せんだいメディアテーク1F オープンスクエア
○アピール集会 12時30分～15時
講演 太田 修平氏
「検証 障害者総合支援法! 私たちの望む制度改革の実現に向けて!」
○当事者アピール・アピール行進 15時30分～16時
資料代/500円(予定)
問い合わせ/鷺見 090(9740)7799



復興 被災地のいま

～岩沼市の復興の現状と被災された方々への生活支援～

東日本大震災から2年5カ月が過ぎようとしています。岩沼市は、沿岸市町でただ一つ港がないまちで、沿岸地域に人口が集中した場所がないにもかかわらず、多くの方が亡くなられ、家屋、田畑などにも甚大な被害を受けました。

岩沼市内には、プレハブ応急仮設住宅364戸をはじめとし、みなし仮設住宅(民間賃貸借借上住宅)では昨年の6月で826世帯、本年6月現在では540世帯の方が生活されています。岩沼市周辺の市町だけでなく、福島県から避難した方も生活されており、自主避難世帯、浸水地域で住宅の再建を希望されている方が多くの方が不自由な生活を余儀なくされております。



岩沼市においては、いち早く防災集団移転促進事業に取り組み、昨年8月から玉浦西地区に広さ20ヘクタールの造成工事が始まりました。「玉浦西地区まちづくり検討委員会」によってまちづくりのルールが示され、沿岸部6地区被災住民の合意形成の下、移転先の区画割りが行われ158区画が整備されました。217戸の災害公営住宅が建設予定であり、入居は集団移転と同時に平成26年春の予定になっています。

岩沼市社会福祉協議会では、平成24年度から岩沼市より被災者支援のための事業の委託を受けました。復興支援センタースマイルでは、みなし仮設住宅などにお住まいの方々、慣れない土地で孤立することがないように訪問活動を行なっています。元いた地域の情報提供や、交流会などをおこなってふれあいの場を提供し、できるだけ不安を解消する支援を行っております。また、浸水地域においては、住民の方を取り組んでいる、コミュニティ再生のための支援をしております。



被災地では震災以前から潜在化していた、生活を取り巻く諸課題が一気に表面化してきているように感じられます。その一つに急激な核家族化による、仮設住宅を中心とした高齢者世帯の増加があげられます。さらには生活不活発がもたらされる、介護を必要とする高齢者の増加もみられます。

昨年暮れに行ったみなし仮設住宅にお住まいの方への生活調査(対象625世帯、回収率48.8%)においては、現住所で地域との交流がない方が45%、日中一人で過ごされている方がいる世帯40%、今後の資金の見通しが立っていない世帯43%、今後の移転先が決まっていない世帯36%、生活上での困りごとや悩みごとがある世帯60%など、生活のしづらな実態が数字となって表れております。さらに深刻なのは、福島県から避難されている世帯です。「帰還のめどが立たずいつまでみなし仮設住宅の制度が続くのか」「子どもと話す時間が減り、学力の低下が心配」「主人が福島までの長距離通勤で疲れた体での運転が心配」などの内容の記載がありました。

岩沼市においては、今後集団移転事業が終了しても多くの生活課題を抱えた世帯が依然として存在し、さらに複雑化していくことが懸念されています。被災された方々が安心して生活を送られるようになるまでには、多くの時間がかかると思われます。今後も行政や関係機関と連携し、市民の方々の理解と協力を得ながら、被災された方々に「岩沼に住んで良かった」と感じてもらえるような支援を続けてまいります。

(岩沼市社会福祉協議会 寄稿)

オススメ製品のご紹介

NPO法人みやぎセルフ協働受注センターでは、働く障害者の方々に応援しています!
URL <http://www.miyagi-selp.org>

県内の障害者就労支援事業所で作るオススメの製品を紹介します。

● ころも

「ころも・さをり」のさをり織り製品はカラフルな色合いで元気いっぱい!手のひらサイズの可愛いころもは小銭入れのほか、印鑑、キーケース、アクセサリー入れなど、多彩な用途にお使いいただけます。一本ずつ糸を選んで織ったさをり布で仕立てられた小物は、それぞれがオンリーワンの作品で、全く同じものは世界中に2つと存在しません。ご注文の際は好みの色などをお知らせください。きっとあなたにぴったりの商品が見つかります!



▲ころも

地域活動支援センターころも・さをり
〒986-0861 石巻市蛇田字新金沼401
仮設恵み野団地支え合い拠点センター内
TEL 080(1850)8984 FAX 0225(22)6791
✉ kokorosaiiisinomaki@yahoo.co.jp
URL <http://blog.canpan.info/kokorosaiori/>

● 豆腐レアチーズケーキ&豆乳プリン

大崎地区を中心に近隣の移動販売を主としており、2月から喫茶営業も始めました。当店のお勧めは500円ワンコインランチです。また、豆乳プリン、豆腐レアチーズケーキも作っており、豆乳プリンは濃厚な豆乳を使ってしっとりとした仕上げました。レアチーズケーキは豆腐を丸ごとすりつぶしてチーズと合わせ、コクを引き出すように仕上げました。お店と移動販売車で販売しております。濃厚な味わいを是非一度ご賞味下さい。



▲豆乳プリン

株式会社まちの豆腐屋プロジェクト「古川とうふ店」
〒989-6135
大崎市古川稲葉3丁目6の10
TEL 0229(87)4135 FAX 0229(87)4136
✉ tohfuya@iaa.itkeeper.ne.jp

